

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

第1学年

語感や語彙を豊かにすること(芸術作品の鑑賞文)

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか?～

語彙が乏しいため、自分の考えを相手にわかりやすく表現することができない。

「とても」「きれい」「いい」などの形容詞や「～思う」の文末表現の多用。

私がこの絵を見て思ったのは、主役が『紅葉』と『夕暮れ』だということです。なぜなら、赤やオレンジ、黄色などの暖色が多く使われているからです。あと、もう一つ思ったことがあります。それは、寂しい感じだということです。なぜなら、この絵の中には、人間や動物が描いてないからです。

この絵は、紅葉や夕暮れなど、さつき書いたことを含め、とてもキレイでいい作品だと思いました。

実践の概要

単元名 芸術作品の鑑賞文を書こう！

『芸術作品の鑑賞文を書く』教育出版

目標 芸術作品を鑑賞し、自分が選んだ絵の魅力を鑑賞文で伝える。その過程で、類義語辞典や国語辞書、パソコンを使って類義語を調べ、言葉に対する興味をもち、語彙を増やす。

- 内容**
- いくつかの観点から絵を鑑賞し、絵の魅力を言葉にする(マッピングを書く)→マッピングの意見交流。
 - 鑑賞文を200字で書く。
 - NGワードを伝え、違う表現を辞書等で探し、推敲する。
 - 同じ作品を選んだ者同士で意見を交流する。
 - 推敲前と推敲後の印象に違いがあるかを考える。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容(単元名)		つまずきの実態
第3学年	言葉の小窓2	ことわざや慣用句など生活言語に興味・関心をもち、語彙を増やす意欲に乏しい。
第2学年	対義語辞典を作ろう！	語句や文、語彙などに興味をもち、主体的に調べ自らの表現活動にいかそうとする意識が低い。
第1学年	芸術作品の鑑賞文を書こう！	語彙が乏しいため、自分の考えを相手にわかりやすく表現することができない。

単元末の目指す姿

- 言葉の多様性や奥深さに気付くことができるようになる。
- 自分の語彙数の少なさに気づき、言葉に関心をもつことができるようになる。
- 辞書やパソコンを使って、意欲的に類義語を探すことができるようになる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

類義語を調べる際に、どの言葉が作品の魅力や、自分が表現したいことに的確かを吟味させる。

活動のねらい▶ 辞書の内容を吟味し、表現することによって、言葉を理解し広げることができる。

ここが
ポイント

類義語辞典やパソコンを使い、たくさんの類義語があることに気付かせる。その中から、自分が表現したいことを的確に表している言葉を考え、選択することができるようにする。

表現したいことに適した言葉探し



「あたたかい」の類義語はどれかな？
どの言葉が一番ぴったりくるかな？

(期待される生徒の姿)

辞書やパソコンを使って調べたり、互いに話し合って類義語を出し合う中で、表現を豊かにすることのよさに気付くことができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

同じ視点から鑑賞文を書いた者同士でグループを作り、推敲させる。

活動のねらい▶ 同じ視点のグループにすることで、伝えたいことと表現の関連をより意識して推敲することができる。

ここが
ポイント

- 「自分の考えを表現するために、適切な言葉が用いられているか」という視点に沿って、言葉を吟味するように指示する。
- 検討する言葉について、複数の案を出し合い、それぞれから伝わる印象を話し合わせることで、言葉に対する意識を高める。
- 推敲後には、自分の文章を再度見直し、どのように印象が違うかを考えさせる。

グループでの推敲



似た意味でも、言葉が違
うと、伝えたいことの印
象が変わってくるなあ。

推敲後の方が、言葉の意味が深まって、
絵の魅力がよく伝わるね！

(期待される生徒の姿)

同じ絵を選んだ者同士で、意見交流を行うことで、違う意見に触れ、自分の表現の仕方を客観的に見直すことができるようになる。